春日部共栄中学校

所在地 : 埼玉県春日部市 生徒数 : 中学校…約323名

国語科 大川 勇一郎 様

言語能力育成の課題感と取り組み

- 国語科では4技能(話すこと・聞くこと・書 くこと・読むこと)の育成を重視。
- 言葉で相手に分かりやすく伝える力を身につ けるため、ビブリオバトル、プレゼンテー ション、新聞作成等を国語の授業時間に取り 入れている。
- 近年の共通テストでは短い時間に多くの情報 を処理する力が求められる。大学入試を見据 え、精読とあわせて文章を素早く読解する力 の育成が今後の課題として挙げられている。
- 自分自身の考えを論理的に表現するという経 験がなく、「書くこと」に苦手意識のある生 徒も少なくない。また、「書くこと」は教員 にとって評価の手間がかかる領域である。
- 国語の現代文は学習したことがすぐには模試 の成績等に結びつきにくく、生徒の学習意欲 の向上に繋がりにくい。

検定の活用概要

【文章検】

- 対象学年・受検級 全学年(全員対象) 4級(1年生)、3級(2年生・3年生)
 - ※2023年度は3年生での準2級受検も検討中
- 指導教材・指導概要 「文章読解・作成能力検定」の過去問題 夏期講座4コマで過去問題演習、解説

【漢検】

■ 対象学年・目標級 全学年(希望者対象) 中学卒業までに準2級取得を推奨

※2022年度の実績

文章検の取り組み・効果

- 昨今の大学入試で求められる論理的な読解 力・表現力の育成に向け「文章読解・作成 能力検定」を導入。
- 文章検の指導においては意見文作成の設問 に重点を置き、主に「書くこと」をトレー ニングする機会としている。
- 検定受検により教員が生徒の文章作成能力 を客観的に把握できる。また、生徒は検定 結果資料のフィードバックから、自分の文 章が他者からどのような観点で見られるの かを知ることができ、今後の学びに繋げら れる。
- 文章検は学習したことが結果に反映されや すく、また合格という形で成果が可視化さ れるため、国語の学習意欲向上、苦手意識 の軽減に繋がっている。
- 担任した2年生のクラスは受検者全員合格。 学年全体の合格率も85%超となった。

漢検の取り組み・効果

- 社会生活や入試で求められる読解力、表現 力の基盤としての漢字・語彙力を身につけ るため、中学卒業時までの準2級取得を目標 として設定。入学時から受検を推奨し、 2022年度末の検定では全生徒約300人中200 人が受検。
- 検定合格という目標が日々の漢字学習の動 機付けにもなっている。また、合格という 形で学習の成果を可視化できる。
- 漢字学習への興味づけとして、国語の授業 や入学希望の小学生に向けた体験授業の中 で「リアル脱出ゲーム×漢検 不思議な漢字 洞窟からの脱出」(弊協会無償教材)を活用。 楽しみながら漢字の知識を深められる機会 としている。 ※2023年3月の取材内容に基づきます。